

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

(※表:広島市安佐南区西郷5丁目2番1号)

配慮項目	評価点	重み係数	内 訳			
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>						
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.08	Q1	室内環境	2	温熱環境
地域IVにおいて熱損失係数 2.7 以下、夏期日射取得係数 0.07 以下、日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級I」における等級4に相当。	5.0	0.43	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
	5.0	0.49				
小計	4.8	0.36				
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー-利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー-利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.09				
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
LED照明器具の採用、自動点滅器やタイマーなどの制御により、CEC/L計算値 0.47 と基準値1.0を大きく下回っている。						
小計	5.0	0.18				
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	0.0	0.00				
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
節水型シャワーヘッド、節水型大便器の採用、躯体と仕上材が容易に分別可能。	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.2	0.26				
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
ライフサイクルCO2、75% 以下。						
小計	5.0	0.11				
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>						
	<b>4.3</b>	<b>0.72</b>				
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>						
<b>2.1 温熱環境の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.2	温熱環境悪化の改善
小計	2.0	0.96				
<b>2.2 交通負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
住戸数以上の駐輪台数、駐車台数を確保している。来客用の駐車スペースを2台確保している。					2.3	地域インフラへの負荷抑制
小計	4.0	0.04				
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>						
	<b>2.1</b>	<b>0.15</b>				
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>						
<b>3.1 耐用性の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
劣化対策等級(構造躯体等)、等級3に相当。主要配管にBを使用し、Eは使用していない。					2.1	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
小計	3.1	0.47				
<b>3.2 設備の更新性</b>						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.53				
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>						
	<b>3.0</b>	<b>0.13</b>				
<b>■重点項目の総平均(上記3項目)</b>						
	<b>3.8</b>					